

大分県立芸術文化短期大学附属図書館

## 図書館だより

No.25  
2015.Oct.

The Oita Prefectural College of Arts and Culture Library Bulletin



表紙作品『ファチマ』 内野宮 久美(1986年美術科卒業)

現実のカーテンの向こうには、猫や天使たちが住む未知の世界が広がっています。作者の未来への憧れと不安がファンタジックに表現された作品です。

## Contents

- ① 先生おすすめの一冊
- ② 視聴覚室へ行こう!
- ③ 学生選書ツアー
- ④ こんな本が新しく入りました
- ⑤ Library Lovers' キャンペーン2015のお知らせ
- ⑥ 図書サークルの紹介

# 先生おすすめの一冊



美術科

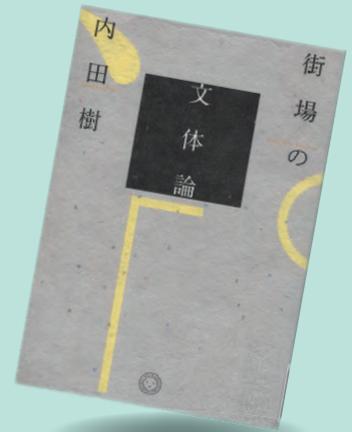
荻野 哉  
先生

## 『街場の文体論』

内田樹 著 801.6/U14

「響く言葉」「届く言葉」とはどういうものなのか、文章を書くとはいかなる行為なのか……研究成果を論文の形で公表すること、そして講義という場で学生に語ることを職業とした現在でも、これらの問いが脳裏をよぎると、しばらく何も手につかなくなります。そんな時に読み直すのが、尊敬する内田樹先生の著作の中でも特に熱気と臨場感があふれている『街場の文体論』です。「僕らの身体を中心にあって、言葉や思想を紡いでいく基本にあるものは、かたちあるものではない。それは言葉にならない響きや波動や震えとか、そういうような非言語的な形態で、死者たちから生者へと手渡される。言葉というのは、「言葉にならないもの」をいわば母胎として、そこから生成してくる。それを「ソウル」と言ってもいいし、「生身」と言ってもいいと僕は思います。そこから発してくる言葉だけがほんとうに深いところで人を揺さぶる」(292-293頁)。神戸女学院大学での最後の講義「クリエイティブ・ライティング」を基にした本書は、この文章をめぐる壮大な変奏と言ってよいでしょう。世間で「クリエイター」と持ち上げられていた人物の盗用騒ぎも、結局は「届く言葉」の本質をまったく理解できていなかったために起こったのかもしれませんが。教育とは何か、クリエイティブであるとはどういうことか、われわれはこの世界をいかに生き延びていくべきなのか……さまざまな疑問を深く掘り下げて考える意義も存分に教えてくれる、名著です。

(おぎの はじめ/美学)



音楽科

石山 聡  
先生

## 『グレン・グールドのピアノ』

ケイティ・ハフナー 著、鈴木圭介 訳 762.5/H11

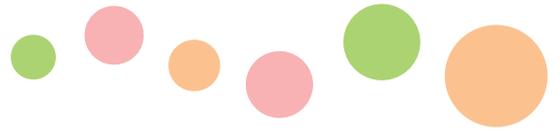
ピアノにおける「整調」は、鍵盤やアクション等、メカニズムを整えることである。「調律」はピッチを整えることである。「整音」は、この二つの工程の後、音を整えることである。「ピアノ調律師」の仕事とは大きく分けてこの三つに区別できるが、これを相互に関連させ成り立たせて、「最適なピアノ」にしている。ただ音を合わせればよいというものではない。

グレン・グールドのバッハ「インベンションとシンフォニアBWV772-801」(録音:1964年3月18日、19日)を聴くと、ピアノの音が滲み、輪郭がぼやけている。通常、これは打鍵時のハンマーのリバウンド(2度打ち)が起こっている現象で、「整調」不良とされるものである。しかし、彼はあえてこのような状態に調整させ録音に臨んだのである。

筑摩書房からでている「グレン・グールドのピアノ」(ケイティ・ハフナー著、鈴木圭介訳)は彼が理想のピアノを追い求めている様が記されている。どのピアノを好み、アクション調整はどう指示していたか等、また彼の生い立ち、恋愛、関わった人等、周辺のエピソードも交えられており、堅苦しい学問書ではない。グールドが好きの人に勧めたい書である。一流といわれるピアニストはそれぞれが理想の「音」を追い求めている。レパートリー、解釈、奏法により、好みのピアノも異なる。また、そこには信頼における調律師との共同作業が絶対条件である。グールドの人となりも面白く感じることができる書である。

(いしやま さとし/ピアノ)





国際総合学科

許 挺傑

先生

## 『超入門資本論』

木暮太一 著 331.6/Ko26

マルクス主義を掲げる社会主義国家の中国からの人間だから、マルクスの『資本論』を勧めているのではない。むしろ、日本をはじめ、世界の国の大多数を占めている資本主義国家(社会)の特徴を知るために、マルクスの『資本論』(概要)を理解する必要がある。

では、なぜ、資本主義社会とその経済の仕組みを知る必要があるのか。スポーツであれ、ゲームであれ、ルールを聞かずにプレーする人はいないであろう。ルールを聞かずにプレーしたら、ルールを知っている人にぼろ負けしてしまう。当たり前のことだ。だが、こ

の当たり前なことを、自分たちの労働(仕事)に対して当てはめて考える人が意外と少ない。資本主義のルールとは何か、それはある特定の仕事をを行う上での手続き的なものなどではなく、資本主義がどのような理屈で動いているのか、そこで生きる人々が直面している問題の背後にどのようなメカニズムがあるのか、そういったことに関するルールのことである。

「ぼくたちは知らぬ間に給料以上働かされている<余剰価値>」、「年収1000万円でも生活がカツカツになる本当の理由<価値と使用価値>」など、著者の木暮氏がわかりやすく解説してくれる。多くの現代人が悩む疑問について、実は150年前の名著がすでに回答している。それらのことを知ることで、学生の皆さんもきっと世の中の見方が変わり、新たなスタートを踏み出す一歩となるであろう。

(きよ ていけつ/言語学)



情報コミュニケーション学科

竹内 裕二

先生

## 『若者と労働 「入社」の仕組みから解きほぐす』

濱口桂一郎 著 366.21/H23

若者雇用問題に対し、国が本腰を入れて対策をし始めたのは、2004年に若年者雇用対策室を厚生労働省内に設置したことからです。この間、日本経済の状況も紆余曲折しながら今に至り、希に見る“売り手市場”となりました。しかし、好調な日本経済と言いながらも、中国経済問題やギリシャ問題など世界規模の問題をはらんでいます。その一方で国内は、少子高齢化問題に伴う消滅都市、都市部一極集中問題などが提起され、いつ経済不況に陥るか予断を許さない状況にあることは間違いありません。

今回紹介する一冊は、そのような外的環境に左右されず、今を生きる若者が一人でも多く就職してもらうための知識として「入社」の仕組みを解説しています。また、今の日本における雇用形態の在り方とその変遷について説明し、これからの日本が進むべき雇用・労働環境はどのようなものかを示しています。この中で印象的だったのは、“日本の雇用形態は「入社」型社会であるため、就職に対し「現役新卒者」だけで得だ”ということです。多くの学生は、この実情を知らないだろう。だからこそ、一度読むことで、日本社会における雇用において新卒者の持つ強みと意義を理解してもらいたいです。

(たけうち ゆうじ/地域ビジネス論)



# 視聴覚室へ 行こう!



～国際総合学科 大木正明先生おすすめのディスク～

## DVD『リトル・チャロ』 『リトル・チャロ2』 『リトル・チャロ 東北編』 『リトル・チャロ4』



今回、私が御紹介するのは、2008年以來、NHKが新時代英語学習プログラム「クロス・メディア」と銘打って展開してきた『リトル・チャロ』シリーズです。チャロ・シリーズ第1弾のあらすじを簡単に説明すると次のようになります。

日本の子犬チャロは、旅行に来ていたニューヨークで迷子になってしまいます。最初は言葉も通じない異国の地で路頭に迷うチャロでしたが、多くの出会いを通じ、沢山の仲間助けられながら、たくましく成長していきます。

こうしたプロットを軸に、シリーズは主人公の成長物語[イニシエーション・ストーリー]として仕上げられ、更に、日本人が学ぶべき基礎的な英語表現をふんだんに取り入れた英語教材としても仕上げられています。

従来、日本の英語教育は、限られた時間枠の中で、より効率的に学習できるプログラムの開発に腐心してきました。しかしながら、他学問と同じく語学においても、より多くの学習時間を確保するという大原則は欠かせません。恐らくNHKがこころみしたのは、この『リトル・チャロ』シリーズをとおして、テレビ・ラジオ・インター・ネットと多くのメディア領域を駆使し（つまり、これが「クロス・メディア」）、芳醇でバラエティに富んだコンテンツを提供する事だったと思います。

今回御紹介するのはDVDシリーズのみになりますが、それでも英語音声[字幕]・日本語音声[字幕]はもとより、番組に関わった人々の裏話、制作の過程におけるエピソード、声優を中心とするスタッフの紹介や、舞台となったニューヨークや東北地方の紹介など、様々な工夫が詰まっており、実践的かつ必要な英語表現を自然に身につけることができます。

ちなみに、本作品の原作と共に脚本を手がけたのは、わかぎゑふという女性劇作家です。監修は、テレビでもお馴染みのパトリック・ハーラン[パッケンマッケンのパッケン]です。制作責任者・佐藤良明の言葉を借りれば、本作品は「中高の数年間身につけるべき実技の力を、チャロのお話に凝縮」した、との事。そうした表現に皆さんが触れるだけでも、英語によるコミュニケーション能力が向上すること請け合いで、国際的視野も広がるのではないのでしょうか。本学の図書館にも、それぞれのシリーズが2セットずつ用意されていますので、是非とも御視聴頂ければと思います。

(おおき まさあき / 英語教育)



## ナクソク・ミュージック・ライブラリー (NML) を使ってみよう!

平成27年6月1日から運用開始

NMLはクラシックを中心に150万曲以上を自由に聴ける音楽データベースです  
図書館視聴覚室で利用できるほか、自宅のパソコンからでもサービスが利用できます  
ただし、音源のダウンロードは著作権上の問題によりできません  
詳しい内容は、図書館までお越しください



# 学生選書ツアー

学生が図書館に置きたい本を選ぶ、本年度第1回目の「学生選書ツアー」を6月、大分市内の書店で行いました。選んだ本のうち参加者が特におすすめしたいものについてコメントを寄せてもらいました。今回選ばれた計107冊の本は、図書館入口の学生選書コーナーに並べていますので、ご覧になってください。

第2回学生選書ツアーは11月に開催します。



## 学生選書ツアーに参加して

国際総合学科 2年 潘 俊雅

きっかけは人文棟に行く途中で「君たち、学生選書ツアーに参加したいですか。」と先生に聞かれたことです。留学生である私にとって“学生選書ツアー”というものは聞いたことがありませんでしたが、本が好きなので「ええ、参加してみたいです。」と言いました。そして、不思議な縁で学生選書ツアーが始まりました。

いよいよ選書の日となりました。書店に着き、たくさん本が目に入りました。調べておいた作家さんのリストを持ち、本を探し始めました。友達との協力により、読みたい本を素早く探し出せました。選書が始まり1時間が経ち、約束した場所に集まり、自分たちが選んだ本

を持ち写真を撮りました。その後、再び選書をしました。2万円分もの本を選ぶのはとても大変でした。

後日、「学生選書ツアーに参加しての感想」や「今以上に学生が図書館を利用するようになるにはどうしたらよいか」「図書館に望むこと」などをテーマに意見交換会を行いました。私は、最も肝心なことは読書を意識させることだと思い、読書の日を創ろうと発言しました。

今回の選書ツアーは非常に有意義な体験でした。将来、必ずいい思い出となります。また、中国に帰国後、大学の図書館に学生選書ツアーを勧めたいと思います。

## 参加者が特にすすめる本のコメント

美術科 1年 菊永 成実

『まるまるまるのほん』 エルヴェ・テュレ 作 谷川俊太郎 訳  
726.6/Tu4

デジタルな世界では簡単にできてしまうことを、あえて絵本というアナログなもので表現するという、今までありそうでなかった斬新な発想で、この本を初めて読んだときにとても衝撃を受けました。遊び心満載で、子どもだけでなく大人も十分楽しめる絵本だと思います。



『父と暮せば』 井上ひさし 著 912.6/I57

原爆で亡くなった者と生き残った者、それぞれの悲しみ、想いがあり、今生きているということの意味の重みや、自分は今何をすべきか、人間、生きものの生と死について深く考えさせられるお話です。是非読んでみてください!



美術科 1年 安部 純平

『スローターハウス5』 カート・ヴォネガット・ジュニア 著  
933.7/V89

20世紀のアメリカ文学を代表する名作です。彼自身の第二次世界大戦の経験をベースとして書かれた作品です。作中で繰り返される「そういうものだ」というセリフは、運命や不条理に翻弄され死んでいく人間への諦観と無常感を感じさせます。作者のシニカルなブラックユーモアも見どころです。



『大工よ、屋根の梁を高く上げよ シーモア序章』 J.D.サリンジャー 著  
933.7/Sa53

同作者の短編集「ナイン・ストーリーズ」から始まったグラス家の物語の3冊目、最終章にあたります。次兄のパディを通じて、「ナイン・ストーリーズ」で衝撃的な結末を迎えた謎めいた長兄のシーモアについて語られます。どこか変わっていて、暖かい、そんな家族にまつわる短篇集です。心に残る切なさも魅力的です。



『世界のホテル』

748/P15

砂漠のど真ん中にあるホテル。海の上に浮かぶホテル。洞窟の中にあるホテルなどなど…この本では世界の78のホテルの写真を載せて紹介しているいわばホテルの写真集です。どのホテルも、単に豪華・綺麗というわけではなく、それぞれの土地を最大限に生かしたデザインで、思わずうっとりと思入ってしまいます。



『知識ゼロからの世界の10大作曲家入門』

吉松隆 著  
762.8/Y91

639年という長い歳月をかけ演奏される曲がある事をご存知でしょうか？ジョンケージ作曲の「オルガン2/ASLSP」は2001年よりドイツで演奏が始まり、終るのは2640年になるんだとか。この本では、主に10人の作曲家にまつわる裏話や雑学などをコミカルな絵を交えて分かりやすく解説しています。音楽の知識がない方にも読みやすい一冊となっています。



『手のひらの音符』

藤岡陽子 著 913.6/F65

45歳の主人公が服飾デザイナーからの転職を余儀なくされることから始まります。人生の岐路に立ち、今までを振り返りまた歩みだす主人公、またこの本は恋の物語でもあり劇的な展開はないけれど、読者の想像に任せるようなラストが好きです。登場人物それぞれが何かを抱えながらも精一杯生きていく姿がとても魅力的な一冊です。



『パラレルワールド・ラブストーリー』 東野圭吾 著 913.6/H55

親友の恋人は自分がかつて一目惚れした女性だったが、ある朝目を覚ますと自分の恋人としてその女性は存在していたというパラレルな話です。2つの矛盾する記憶の中で混乱する主人公にどちらが現実なのか、はらはらしながら読みました。最後にそういうことだったのか！と欲望とか優しさとか人の感情に切なくなります。



『過ぎ去りし王国の城』 宮部みゆき 著 913.6/Mi71

宮部みゆきさんの最新作！大きな騒動がおきるわけではないが、淡々と過ぎていく日常の中でひとつのデッサンと出会い成長していく主人公。生きるために大事なことはなんなのか。ファンタジーと現実の世界へいくことができるこの物語をぜひ読んでほしい。



『超訳 日本国憲法』 池上彰 著 323.14/I33

「日本で暮らしているけど憲法って難しい。分からないところがある。けど知らないのと恥ずかしいよね。」と知っているそこのあなた！あの池上彰さんが日本国憲法を「超訳」してくれました！日本国憲法についてたいへん分かりやすく訳してくれています。これは一読の価値ありです！



『お別れの音』 青山七恵 著 913.6/A58

人は毎日、誰かと出逢い、別れとも呼べないすれ違いを繰り返す。すれ違いだからこそ、その出来事が人生を大きく変えたりはしない。しかし、そのすれ違いは忘れずにずっと心の底に残っている。それに、気になった部分はきつとつか思い出せる。このようなすれ違いを繰り返しているからこそ人生は波瀾が起こって、不思議な彩りがある。



『助手席のチャット 名犬チャットと探偵バーニー』 スペンサー・クイン 著 933.7/Q7

この本は、探偵バーニーとその相棒の犬チャットが女子高生失踪事件を調査していく中で、いろいろな事が起こっていき、またチャットが警察犬訓練所を卒業できなかった真相をあかしていく話です。犬の視点で語られていて、大好きな私にはたまらない作品でした。犬好きでない人も、読めれば犬が飼いたくなると思います。



『学年ビリのギャルが 1年で偏差値を40上げて 慶応大学に現役合格した話』

坪田信貴 著  
376.8/Ts19

この本は受験生だけでなく、この学校にいる学生はもちろん教授、職員の方皆に読んでもらいたい作品です。何事もやらないうちからどうせ無理に決まっているとあきらめていませんか？これには英語や小論の勉強法も書かれていますので編入希望の人にとっても役立ちます。



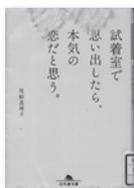
『嵐の深イ話2』 神楽坂ジャニーズ巡礼団 著 767.8/Ka19/2

これはジャニーズが大好きだという人にも、興味がないという人にも読んでもらいたいです。華やかな世界の裏で出会った困難に彼らがどう立ち向かったのか、彼らの人間性や笑えるエピソード満載です。これを読めば、苦労しているのは私だけじゃないんだと思える元気づけられる作品です。



『試着室で思い出したら、本気の恋だと思う。』 尾形真理子 著 913.6/O23

洋服を選ぶとき、試着したとき、だれを思い出しますか。どんな自分を思い描きますか。自分が「着たい服」と、自分に「似合う服」。似合う服に出会い、身にまとったとき、いまの本当の自分に向き合えた瞬間だと思いました。各々のキャッチコピーに魅かれ、女の子が吸い込まれやすい内容だと思えます。



『珈琲のすべて』 596.7/Ko27

カフェオレとカフェラテの違い、エスプレッソって？豆の種類、特徴、コーヒー好きにはぜひ読んでもらいたい本です。おいしい淹れ方、ドリップ方法、ますますはまってしまいます。スターバックス、タリーズもいいですが、喫茶店のマスター直伝の淹れ方でおうちでリラックスタイム、そんな生活どうでしょう。



# こんな本が新しく入りました

2015年4月～9月までの新着図書の中から学科の先生が選んだ資料を中心に一部ご紹介いたします

学科	図書ラベル	書名	著者	学科	図書ラベル	書名	著者
美術科	069/I81	ポピュラー文化ミュージアム：文化の収集・共有・消費	石田佐恵子 [ほか]編著	音楽科	761/G63	理論・方法・分析から調性音楽を読む本	アンリ・ゴナル著
	304/A95	21世紀の歴史：未来の人類から見た世界	ジャック・アタリ著		762.3/P22	バルトークの民俗音楽の世界：子供のためのピアノ作品を題材に	バップ晶子著
	501.83/Sa85	問題解決ラボ：「あつたらいいな」をかたちにする「ひらめき」の技術	佐藤オオキ著		C/7745/11	ボレロ = Bolero [録音資料]	Andre Cluytens (指揮)
	701.1/St3	分析美学入門	ロバート・ステッカー著		C/7746/12	レクイエムop.48=Requiem, Op.48 [録音資料]	Andre Cluytens (指揮)
	758/O17	Finn Juhl：北欧デザインの巨匠 フィン・ユールの世界	織田憲嗣著		B8.49/She/Wi 1/6-6/6	小さな世界=It's a Small World; 金管アンサンブルく金管5重奏>	Richard M. Sherman
	778.7/So15	カメラを持って、町へ出よう：「観察映画」論	想田和弘著		B8.42/Wi'J/AL 1/83-83/83	オリンピックファンファーレと テーマ =Olympic fanfare and theme	John Williams
	778(W)/St	スティーブ・ジョブズ=Steve Jobs [映像資料]	ジョシュア・マイケル・スターン監督		B8.42/St'B/SR 1/6-6/6	A列車で行こう!=Take the A Train	Billy Strayhorn
国際総合学科	253/W12	大学で学ぶアメリカ史	和田光弘編著	情報コミュニケーション学科	007.3/Ts24	情報社会学の基礎	圓岡偉男[著]
	332.53/St6	世界に分断と対立を撒き散らす経済の罟	ジョセフ・E. ステイグリッツ著		361.4/O67	呼称の対人的機能	大野木裕明著
	334.476/Sh83	ハワイにおけるアイデンティティ表象：多文化社会の語り・踊り・祭り	白水繁彦編		361.45/To49	コミュニケーションの起源を探る	マイケル・トマセロ著
	375.9/E67	英語教科書は「戦争」をどう教えてきたか	江利川春雄著		493.7/Sa47	睡眠障害のなぞを解く：「眠りのしくみ」から「眠るスキル」まで	桜井武著
	820.7/A63	体験的中国語の学び方：わたしと中国語、中国とのかかわり	荒川清秀著		673.98/Ta93	九州ジャズロード	田代俊一郎著
	800/Li/1~4	リトル・チャロ = Little Charo 1~4 [映像資料]	わかさゑふ原作		816.5/Y24	コピペと言われないレポートの書き方教室：3つのステップ	山口裕之著
	778(W)/Ha	ハンナ・アーレント：Hannah Arendt [映像資料]	マルガレーテ・フォン・トロッタ監督		775/Ni/2000	人間風車 2000年版 [映像資料]	後藤ひろひと作
図書館	021.4/Ta33	伝わるデザインの基本：よい資料を作るためのレイアウトのルール	高橋佑磨, 片山なつ著	図書館	707/A71	女子大生に超人気の美術の授業：本当はすごい"自分"に気づく	有賀三夏著
	361.5/Sa81	国際学入門：言語・文化・地域から考える	佐島隆[ほか]編		773/Ko39	恋する能楽	小島英明著
	440.4/H94	宇宙をあるく	細川博昭著		913.6/Ts44	ハケンアニメ!	辻村深月著
	689/Y62	観光サービス論：観光を初めて学ぶ人の14章	安田亘宏著		778(W)/Gu	グリーンマイル=The Green Mile [映像資料]	フランク・ダラボン監督

## 図書館職員注目の一冊

### 『「音大卒」は武器になる』

大内孝夫 著  
377.9/O91

毎日練習を怠らない「真面目さ」、レッスンの中で磨かれる「コミュニケーション能力」と「時間管理能力」、ステージで物怖じしない「度胸」、先生に叱られてもめげない(?)「精神力」などなど。これらの能力があればどんな会社、どんな職種でも戦力になれる!これは音楽科学生の就活パイプだ!(みよし)



### 『この地名が危ない』

楠原佑介 著  
291/Ku91

古くから残されている地名はその土地の災害の記録でもありました。本書では地震や津波のあった場所を中心に、災害の危険性を検証。ありふれた地名も、名付けの理由が見えてきます。多発する自然災害にどのように対応していくか。まずは自分の立っている地名からヒントを得られるかもしれません。(おの)



### 『パリの国連で夢を食う。』

川内有緒 著  
916/Ka98

ふとしたきっかけで国連の職員募集に応募した著者。しかしその結果は本人も忘れた2年後に届き...そこから新たな世界の扉が開かれた。世界一のお役所「国連」の舞台裏やパリの生活事情などが散りばめられ「人はどこでもどんな風にも生きられる」ということを教えてくれる1冊。(うしじま)



### 『稼ぐまちが地方を変える』

木下斉 著  
601.1/Ki46

補助金をあてにした行政頼みの「まちづくり」ではなく、自分たちで稼いで地域を活性化していく。高校時代から地域活性化に取り組み、多くの失敗や挫折を経験した著者が、実体験に基づきあれこれバツサリ切りまくります。地域イベントやまちづくりに関わりたい人はもちろん、スキマ時間に読む一冊としてもオススメです。(にのみや)



今年も始まります！

# Library Lovers' キャンペーン2015



## Library Lovers'キャンペーンとは…?

- ♡ 図書館を好きになってもらいたい
- ♡ 図書館を、様々な本や知識、そして人との出会いの場にしたい

というコンセプトのもと、毎年秋に九州地区の国公立大学・高専図書館で行っている共同の図書館イベントです。当館は今年で3回目の参加となります！キャンペーンは10月20日(火)～11月16日(月)まで、図書館1階のロビーにて行います。日頃「あんまり図書館には行かないなあ」という方も、この秋はぜひ、附属図書館までお越しください！

今年の合同企画のテーマは

## 「ブックレシピ ～本を、料理しろ～」

まずはプロ(九州地区の先生方)のレシピをご堪能あれ！  
3冊の「食材」を元に作られた「〇〇レシピ」を掲示します。  
自分でもレシピを作りたい方は図書館1階ロビーに設置している投稿用紙にご記入をお願いします。  
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。  
あなたの「おすすめレシピ」、教えてください！



サイトも  
要チェック!



Library Lovers'キャンペーン2015 <http://librarylovers2015.blog.jp/>



## 図書サークル紹介

こんにちは、図書サークルです。皆さん、図書サークルの活動をご存じでしょうか？私達は、好きな本への思いを通じて、学科や学年を越えた温かな交流の場に集い、本学において、文字の文化をより広く、豊かなものとするための活動を行っています。

図書館における展示や、学内同人誌の編纂、読書会などの行事を、時にはつまずきながらも、和気あいあいと協力して一緒に行ってみませんか？興味のある方は是非一度参観にいらしてください。

(お問い合わせは readingtravelers@outlook.jp まで)



本や楽譜などの資料の  
購入リクエストはMyOPACの  
購入希望 から受付しています！

ただし、ライトノベル等当館の収書方針に合わない資料は購入を見合わせています。  
まずはリクエストを送ってみてください！



ほん太

10月は本活月間  
月に1冊本を読もう！

大分県立芸術文化短期大学附属図書館  
図書館だより No.25

発行日 2015年10月20日発行  
編集・発行 大分県立芸術文化短期大学 附属図書館  
〒870-0833 大分市上野丘東1番11号  
TEL・FAX (097) 545-4235  
<http://ex2014.oita-pjc.ac.jp/library/>  
図書館キャラクターデザイン：若杉郁子